

# 全国小さくても輝く

11(平成23)年  
11月5～6日  
岡山県奈義町

# 自治体フォーラム

第16回

今年3月11日に発生した東日本大震災は、地震・火災・津波の被害も多様かつ大きく、また被災した地域が広範囲に及びました。住民の暮らしと生業、地域経済の復旧・復興にむけ、懸命な努力が始まっています。同時に、東京電力の福島第一原発の事故は収束の気配もなく、今なお住民と自治体はその渦中に巻き込まれていることは残念に思います。

役所・役場自体が大きく被害を受けた地域もあるにもかかわらず、他地域の自治体職員の少ない応援を受けつつも、被災者援助に頑張ってきたのは自治体です。被災地にかぎらず被災者の避難生活を支えているのも自治体です。これはコミュニティに手が届く自治体だからこそできたということに私たちは誇りをもつとともに、このような努力を、全国の連帯の力で支えるべきだと痛感します。



地方分権改革は時代の流れでもありますが、それには基礎自治体である市町村が権限と財源とを保障され、同時に、小規模自治体に対する都道府県や国による適切な補完がなされなければ、真の分権改革とはいえません。これまでの「平成の市町村合併」や「三位一体の改革」によって、都市対農村、東京対地方の格差が極限まで拡大している今日、そうした深刻な格差を是正する方向と、いずれの地域に住んでいても憲法で保障された文化的な生活と個人の社会権とを保障できるための地方自治体でなければなりません。また全国町村会も反対するように、道州制の導入は、小規模自治体やそこでの住民の生活基盤そのものを破壊することにもつながりかねません。第30次地方制度調査会の審議が始まりましたが、住民のための地方自治体がいきる答申を求めたいと思います。

さて、私たち、全国小さくても輝く自治体フォーラムの会は、これまで15回開催してきた「小さくても輝く自治体フォーラム」の伝統のうえにたち、さらに小規模自治体の魅力を高める取り組みと交流を日常的に強化し、お互いに切磋琢磨するとともに、小規模自治体の存在意義を全国民にアピールしていくことを決意し、恒常的な会員組織として設立いたしました。当初5月の開催を予定していた今回の奈義町での「フォーラム」は、恒常的な会員組織「全国小さくても輝く自治体フォーラムの会」として主催する2回目のフォーラムとなります。

岡山県の北東部、中国山地の秀峰「那岐山」の南麓に広がる奈義町は、四季折々の美しい自然に恵まれた町です。全国で市町村合併が進む中、平成14年に「合併をしない」ことを選択したまちでもあります。

奈義町は、昭和30年に3村が合併し誕生してから半世紀の間、自衛隊誘致をはじめ、農林業環境整備、工業団地への企業誘致、小中学校や現代美術館等の教育文化施設の整備などをすすめてきました。地域の観光や産業振興の発展へ向けた取り組みとしては、恵まれた自然環境を生かし、農村と都市との交流拠点として那岐山の裾野に整備した「那岐山麓山の駅」は、滞在型のリゾートスポットとして地域活性化の基盤となりました。美しい景観と緑に囲まれた同施設内にある山野草公園では、那岐山麓一帯に自生する貴重な山野草を保護しており、公園内を一望できる天空橋からの眺めは、心が癒される最高の空間です。文化面では、江戸時代後期から伝わる伝統芸能の横仙歌舞伎（岡山県重要無形民俗文化財）を保存伝承し、四季に定期公演を行うなど地域の歴史や伝統を大切に、芸術文化活動へも取り組んでいます。産業振興については、昨年度、今回のフォーラムの記念講演者の金丸先生を総務省地域力創造アドバイザーとしてお招きし、潜在する地域資源を活かした特産品開発、直売所の改革、農業体験と農家民泊など農・商・観連携の取り組みを行ってきました。

文化のまち奈義で、これまでの「フォーラム」の伝統を引き継ぎ、小規模自治体の活動を交流し、その意義と役割を全国民にアピールするためにも、これまで以上の方々に参加していただくよう、お願いいたします。

主 全国小さくても輝く自治体フォーラムの会  
催 事務局 自治体問題研究所  
現地事務局 / 岡山県奈義町総務課

〒162-8512 東京都新宿区矢来町123  
電話 03-3235-5941 FAX03-3235-5933  
<http://d.hatena.ne.jp/jichitai/forum/>

〒708-1392 岡山県勝田郡奈義町豊沢306-1  
電話 0868-36-4111 FAX0868-36-4009

## 日 程 (日程は変更することがあります。)

### 11月5日(土)

- 12:30 ~ 受付(奈義町文化センター:役場隣)  
13:00 ~ 13:30 歓迎行事  
13:30 ~ 13:40 あいさつ(フォーラムの会幹事から/  
花房昭夫・奈義町長)  
13:40 ~ 14:50 記念講演「食からの地域再生 - 「田舎力」  
「地力」を高める食文化(仮)  
金丸弘美(食環境ジャーナリスト、  
食総合プロデューサー)  
15:10 ~ 17:00 分科会・講座  
再生可能エネルギー(和田 武・日本環境学  
会会長、遠州尋美・大阪経済大学教授)  
TPPと農業農村(中嶋 信・徳島大学教授)  
財政講座 (藤田安一・鳥取大学教授)  
町村長交流会 (平岡和久・立命館大学教授)  
17:15 ~ 17:45 小さくても輝く自治体フォーラムの会総会  
18:00 ~ 19:30 夕食交流会

### 11月6日(日)

- 9:20 ~ 10:30 特別講演  
住民がつくる「もうひとつの役場」(仮)  
安藤周治(ひろしまNPOセンター)  
10:40 ~ 11:20 特別報告 原発事故と地元町村の苦悩(仮)  
浅和定次・福島県大玉村村長  
11:20 ~ 11:40 参加者アピール/次回あいさつ

## 参加費用

参加費 4000円(ただし、フォーラムの会団体会員の首  
長や議員、職員と、フォーラムの会個人会員は2000円)  
夕食会費 3500円。 は当日受付でお支払い下さい。

## その他

1日め分科会の報告を募集しています。再生可能エネ  
ルギー、TPPと農業農村について、10~15分程度にまと  
めてください。報告者の参加費は免除になります。

恒例になりましたが、夕食交流会への各地の地酒等の持  
ち込みを歓迎します。宅配便の場合は奈義町役場総務課へ  
お送りください。

会場周辺はコンビニも食事をとるところもあまりありま  
せん。5日の昼食、6日の昼食は、那岐山麓山の駅特製弁  
当(お茶付800円)を予約販売します(当日、現金で精算)。

## 会 場

全体会場は、奈義町文化センター(両日)  
奈義町豊沢327-1 0868-36-3034  
(町役場となりです)



## 宿 泊

参加者ご自身で、ご予約・決済をお願いします。

奈義町内の宿泊(料金はそれぞれお問い合わせ下さい)  
那岐山麓山の駅(コテージ5棟)0868-36-8080  
民宿さわ(和室6室)0868-36-3117  
那岐旅館(和室6室)0868-36-3130  
那岐山荘(和室4室)0868-36-8041  
津山市内のホテル・旅館、湯郷温泉の旅館(美作市)は、  
同封のパンフレットをご覧ください。

## 交 通・送 迎

### 送迎バス

<いき>  
津山バスセンター(JR津山駅道路渡った目の前)から  
12:25発。約40分。  
中国自動車道美作ICバス停から12:15発。約25分。

<かえり>  
津山バスセンターへ12:00発。岡山行13:39に接続。  
岡山空港行き乗合タクシーに乘換え14:40羽田行に接続。  
中国道美作バスIC停へ12:00発。大阪行12:53に接続。

<旅館・ホテルへの送迎>  
分科会終了後とレセプション終了後に、津山バスセンター、  
湯郷観光案内所、山の駅方面に送迎します。朝は、津山バ  
スセンター8:20、湯郷観光案内所8:30出発で送迎します。

### JR津山から

津山駅からは路線バスもあります(中鉄バス行方・馬桑線)  
役場前まで40分、790円。

<http://www.chutetsu-bus.co.jp/rosen/tuyama.htm>

### 車の場合

中国自動車道、美作ICから国道51号約15分  
役場ホームページもご参照ください。

## 「小さくても輝く自治体フォーラム」参加申込書

(ファックスで自治体問題研究所=03-3235-5933へ、10月15日までに必要事項に を付けてお送り下さい)

会場へのアクセスは JR津山からの送迎バスに乗る 中国道・美作バス停からの送迎バスに乗る

自力で参加する(自家用車 マイクロバス 路線バス等) その他

1日目夜の交流会に 参加する 参加しない 那岐山麓山の駅特製弁当を予約する 1日目 2日目

1日目の宿泊地はどこですか? 奈義町内 津山市内 湯郷温泉 その他

1日目の分科会はどれを選びますか? 町村長交流会 分科会での発言を 準備する しない

名前 \_\_\_\_\_ 都道府県名 \_\_\_\_\_ 市町村名 \_\_\_\_\_

所属・肩書き \_\_\_\_\_

連絡先TEL \_\_\_\_\_ f a x \_\_\_\_\_

男・女